



令和4年10月24日(月)

〒385-0053 佐久市野沢335-1 Tel.62-0360 野沢中学校長:松島 恒志

E-mail:nozawachu@sakushi.ed.jp Fax.62-2401 発行責任者:田中 章子(教頭)

放課後学習会を 検討中です

先日、塩尻市の「えんぱーく」を利用しました。えんぱーくは研究室がたくさんあるのですが、各研修室の周囲は廊下というかホールというかフリーのスペースがたくさんあります。そこかしこに机と椅子があり、座って勉強することができ、多くの中学生や高校生が座って黙々と勉強をしていました。図書館で勉強するのと同じような状況です。家で勉強することも可能ですが、なかなか集中が続かないという人も少なくありません。皆が集中して勉強している空間のほう勉強しやすいのかもしれない。

そんな効果も期待しながら、野沢中学校では「放課後学習会」の実施を検討しています。週1回程度、放課後の視聴覚室や第2多目的(元パソコンルーム)を学習の場として提供しようとするものです。基本的に自習をする時間ですが、地域の学習ボランティア(元教員)の方に在室していただき、その方に学習について質問することができ、体制を目指しています。あらかじめ「来週は数学の先生が来られます」「英語の先生が来られます」といった具合にアナウンスしておけば目的意識をもって参加する生徒もいると思います。自習する内容は本人任せ・・・生活記録を書く、漢字練習をする、宿題をする、予習をする、といった具合です。基本的には部活のない日(通常は水曜日)の放課後です。これから日が短くなるので、終了時刻18:00ごろのお迎えが必要になります。興味がありましたら、ご家庭で検討してみてください。詳細は追ってお知らせします。

学校長

1日総合 1年生 ふるさと学習

1年生は、野沢地区の文化・産業を知るために、地域に出かけました。

俳句作品

寺の池 静かにうつる 初紅葉
木の実落つ つぶさぬように 眺め入る
本堂へ 石段を踏む 薄紅葉
静かなる 山門照らす 梅もどき
山の寺 三つの色の 初紅葉
秋の寺 せせらぎの音 はずこより
秋深し 指先かじかむ 皿洗い
初紅葉 声によりくる 池の鯉
初きのこ はずかしながら 顔を出す

【感想】

○三重塔を近くで見ると、鼻や波の上を飛ぶ鳥、花などの彫刻がはつきり見えました。逆に三重塔を少し離れてみると、彫刻や細かい建築は見えないものの、周りの植物や空、地面など、周りの風景を一緒感じられました。そんな考え方や、捉え方なども教えていただき、よい気づきになったと思います。○俳句作りを通して、もの見方が変わりました。いつもは素通りしてしまう植物や季節を色々な視点で感じ、俳句にすることで、心がうるおった気がしました。○「読んだ相手にどう伝えるかではなく、相手がこの句を読んだ何を連想するのか考えることが重要です」と言われた時、ただ季節を入れて句を作るのではないということがよく分かりました。



おやき



熱気球



酒造



佐久鯉



跡部踊り念仏



座禅体験



草木染め



昔の学校
謄写版印刷機



埋蔵文化財

1日総合 2年生 職業体験学習

2年生は、職業体験を行いました。コロナ禍にて、職場での体験はできませんでしたが、その道のスペシャリスト達が県内から野沢中学校に集まり、その技能の一部を、2年生の皆さんに体験させてくれました。



プログラミングで、線の上を走らせます。



印章彫刻 様々な書体があります



フラワーアレンジメント



木彫刻 小さなお盆に彫りました



ミニ庭園作り 作品は職員玄関に飾られています



建築板金



農民美術



草木染め

1日総合 3年生 福祉体験



アイマスク体験 視覚障害者と介護者のそれぞれの立場の体験を行いました。

3年生は、福祉体験学習を行いました。コロナ禍のため、地域の施設等での体験が制限されるため、学校で4つの体験をしました。また、災害が起きたときに、何ができるのか実際に想定して、災害ボランティアの目線で、コミュニティマッチングを行いました。



おもりをつけて、高齢者体験



障害者スポーツ ボッチャの体験



障害者スポーツについてお話しを伺い、車椅子体験もしました。車椅子に乗ってみると、校内がバリアフリーでないことが実感されます。



災害ボランティアを配置する際に、どこにどんな人を配置すればよいのかを考えました。

教育課程研究協議会 図工美術

10月20日美術の研究授業が行われました。各自の考えを班ごとに話し合い、タブレット端末で共有し、クラス全体で確認し合った内容を自分の作品に生かしていく3年生の授業です。

参加者からは、「生徒の意見交換がとてもよくできていた。」「タブレットを使いこなしていた。」他、たくさんの意見が寄せられました。中学3年生の力量の高さを実感した授業となりました。



Jamboardで意見集約



各班からたくさんの言葉が出されました

11月 月暦表							校内の会合・行事など			
日	曜	朝	I	II	III	IV	V	VI		
1	火	読書	38	39	40	41	42		NIE授業研究	
2	水	読書	53	1	2	学	54		3年参観日、2年学年内選挙	
3	木									
4	金	読書	3	4	5	6	7		漢字検定	
5	土								東信新人(卓球)(カカ)	
6	日								東信新人(卓球)(男女バスケ)	
7	月	読書	8	11	12	9	10		小中連絡会②	
8	火	読書	13	14	人権	15	16			
9	水	***	17	18	19	20	学活	***		
10	木	読書	21	24	25	22	23		検尿、佐久平整形開先生来校	
11	金	読書	26	27	29	30	28			
12	土		PTA資源回収							東信新人(柔道)
13	日									
14	月	読書	31	32	33	34	35		視放研(本校会場)	
15	火	読書	38	39	40	41	37	36		
16	水	***	7:30	7:30	7:30	7:30			期末テスト①	
17	木	読書	7:30	7:30	学活				期末テスト②	
18	金	読書	42	44	45	46	43			
19	土								東信新人(女バレー)	
20	日								東信新人(女バレー)	
21	月	読書	53	54	3	4	1	2		
22	火	読書	51	52	50	49	47	48		
23	水									
24	木	読書	5	6	7	8	***	選挙	生徒会選挙	
25	金	読書	11	12	13	10	9			
26	土									
27	日									
28	月	読書	14	15	16	17	学活			
29	火	読書	18	19	22	20	21			
30	水	7:30	23	24	25	26	27			

PTA資源回収 今年度は校庭で集めます

回収できる資源物

※ビニールのひもは使わないでください。

★新聞紙・折りたたみ広告★ できるだけ紙ひもで縛る。ビニールのひもは不可。

★古本・雑誌・雑紙★ 金具やプラスチック類はなるべくはずす。ビニールカバーは不可。油紙、金紙、銀紙、カーボン紙は×。

★牛乳パック★ バラで構わない。まとめるときにビニールひもを使わない。

★段ボール★ 内側に銀紙やビニールが貼ってあるもの×。

★アルミ缶・アルミ製品★ 中をよく洗う。収集袋には、アルミ缶のみを入れる。アルミサッシなどは、ガラスや網を取り除く。

日時:11月12日(土) 雨天実施
持ち込み場所: 野沢中学校 校庭
時間:午前7時~午前11時30分
※今年度は、各家庭で持ち込んでいただく方法です。ご協力をよろしくお願いいたします。

図書館からのお知らせ

だんだんと秋になってきました。秋といえば...読書の秋! たくさんのお本に出会えるといいですね。

10月31日~11月7日は
読書旬間です。
期間中は毎日3冊貸し出します。お楽しみに!

ある意味、ってどんな意味? など計100項目収録



あいまいぼんやり語辞典

大人の大学生の著者の新作です。伏線回収が見事です。ハラハラドキドキが止まりません!



俺ではない炎上

ミクロの世界が楽しいです。



世にも美しい変形菌

紅子がお店を出すまでのいきさつも収録



銭天堂 18

人気作家二人による超絶絶頂! 感涙必至の作品です。必見



その本は

これを読んで自分を守る力を身につけよう!



14歳からのプログラミング

精霊の守り人。歴の王に続く作品



子ども弁護士におまかせ

スマ本編の著者の新著です。



運動脳

学校に馴染み、自信を持って



13歳からのプレゼンテーション

あいさつ運動を広げる

以前、民生児童委員の皆さんの会合に参加させていた際に、野中の子ども達は、とても気持ちのよい挨拶をしてくれる。と多くの皆さんからお話をいただきました。学芸祭が終わり、三年生が中心になって進める生徒会も、残り二ヶ月です。そんな時期に、校風委員が中心になって「あいさつ運動」を進めています。「あいさつされたから答える」のではなく、「自分から進んであいさつする」野中生を一人でも増やそうと頑張っているのです。

生徒集会では、横断歩道で停まってくれた車に対して、笑顔でお礼のあいさつをする人々の映像を見ながら、あいさつの輪を、校内だけでなく地域にも広げていきたいという委員長の願いが語られました。

中学校は義務教育の出口です。「家族」という小さな社会から、「幼稚園・保育園」、「小学校」と、段々と大きな社会へと歩み出します。「中学校」を卒業すれば、「野沢」という社会へと、様々な人々と活動をしていくこととなります。その新たな社会の中で、気持ちよく過ごしていくために、「あいさつ」は欠かせないものだと思います。地域を活性化させる原動力になれるよう、あいさつの輪を広げましょう。